

支部のトピックス(四国支部)

「アジロ山」自然体験学習の支援とともに「建設コンサルタント」をPR

四国支部では毎年、将来を担う子供たちとその保護者が一緒に自然とふれ合いながら自然環境の素晴らしさと大切さを学ぶとともに、建設コンサルタントの役割や業務への理解を得ることを目的として、地元環境団体等の協力をいただいて自然体験学習を主催しています。

約10年前から実施している高知市の「アジロ山」におけるこの取組みに先立ち、6,000枚のチラシを作成して周辺地域の小学校4校と保育園5園には持参、その他の小学校や関係機関に配付するとともに、県広報広聴課及びマスコミにも呼びかけを行いました。こういった取り組みの甲斐もあり、当日はコロナ禍にもかかわらず、子供・保護者をあわせて約170名もの参加があり、検温・マスク・消毒といったコロナ対策を徹底しつつ、盛況のうち無事にイベントを終えるとともに当初の目的を達成することができました。



■イベント概要

入山の道中では、森の中にあるブランコを楽しんだり、子供達が学習して覚えた「しい」「どんぐり」など木の実を親子で夢中になって見つけたりしている姿がみられました。『ノコギリ体験』では、スタッフから教わりながら、慣れない手つきで一生懸命に木を切っている姿がみられました。『クラフト体験』では、スタッフの指導を受けながら、椅子、竹の楽器、木製ストラップ、名札を夢中になって作っていました。なお、一番人気は椅子作りでした。



『距離当てゲーム』は、歩測、靴の長さなどから親子揃って距離を予測するもので、長い距離は苦戦していたみたいです。『ドローンフライトシミュレーション』では、子供だけではなく保護者にも大人気で、山の急傾斜地や森林の調査や測量にドローンが活躍することなども知ってもらうことができました。



また、イベントブースには建設コンサルタントを紹介するパネルを展示するとともに、参加者には協会パンフレットの配布も実施、高知さんさんテレビの取材もあり、充実したPR活動を行うことができました。